

# 【高血圧のメカニズム】

## 大石一二三博士のプロシーディング(論文)より「高血圧」

食原病と言われている高血圧の改善は、食事と運動に尽きると思います。そんなの分かっている。そう言われる方も沢山おられるでしょうが、これ以上に有効な方法は、ありません。暴飲暴食はせずに、出来れば腹八分目の量で止めて、毎週適度な運動をし続けることです。週に4-5時間歩くとか、ランニングとかなら30分以上のものを合計3時間位なんかがお勧めです。本来ならここで終わりです。なにせ、世界最高峰の決定的な治療方法を書いたからなんです。

しかし、沢山の高血圧症の方がいると言う事実から、世界最高峰にははるか及びませんが他の方法についても言及してみます。例えば、短期的でよく、血圧さえ下がればどんな方法をとってもいいと言うのであれば幾つもの方法があります。最も単純に物理的な方法を取るならば、血液を注射でも何でもしてどんどん抜けば血圧は下がります。1リットルも抜いてやればきつと下がるでしょう。血管を拡張させる薬を点滴してもきつと下がるでしょう。まあ、見事に下がると思うのですが、そんな方法をとっていると言う話はほとんど聞きません。緊急事態を除けば最低最悪の方法だからです。

現在病院に通って薬を貰っている方々は非常に沢山おられることでしょう。血圧を下げて元気なからだに戻る薬を飲んでいると勘違いしておられる方も中には沢山おられるかと思いますが、そうではありません。**あの薬は、血圧が高くなりすぎて「思わぬ場所の血管が破裂する」とか「からだの組織に血圧を原因とする異常が出る」を防ぐために飲んでるのです。言い換えれば、からだに重大な症状が起こる「決定的瞬間を先延ばしにするための薬」というわけです。**先延ばしにするだけであって、原因を改善するわけではありません。信じられないと思うならば、病院でお年寄りを捕まえて高血圧かどうかが聞いてみると良いと思います。そして病院で高血圧が治ったと言う人を知っているか聞くと良いでしょう。本当に良くなるのであれば、何人もの方から聞いたことあると言われるでしょうが、そんな答えは聞けないはず。その代わりに聞こえてくるのは、もう病院に通い始めて何年目という、通院記録更新の話ばかりです。もちろん、薬を飲んだら血圧が下がったと言う話はたくさん聞けるでしょうけれど...

まあ、「この薬を飲めば高血圧が治りますか?」と、お医者さんに聞いてみるのもありでしょう。血圧が下がることは保証してくれるでしょうが、薬を一定期間飲むことで高血圧症から解放されることを約束してくれるお医者さんはいません。若しも居たならば、まあ、大抵はインチキなわけですけれど、幸か不幸かお医者さんのほとんどは、そんなインチキな事は言わずに、生活改善をしましょうと心優しいアドバイスをしつつ、先延ばしの薬を処方してくれます。**血圧を下げる薬で時間稼ぎをしている間に、食事や運動で根本的な解決をはかることが可能だからです。**しかしながら、ほとんどの患者さんは薬だけ飲んで単純に先延ばしにしたりします。厳しく指導しながら薬を減らしても、どこか他所の病院に行って薬を飲むことでしょう。その様な人ならば、あそこは薬を出さないから血圧が下がらないインチキでヤブな医者だと陰口すら叩かれるかも知れません。元アメリカ副大統領マクガバンレポートでは、「従来の医学は栄養に盲目であり偏った片目の医学である」と結論づけ、「がんをはじめとする慢性疾患に関しては患者の生活習慣を改善することが不可欠で従来の医学で治すことは不可能である」としています。理由は、担当医師が患者さんに付きっきりになり生活改善の指導をすることは物理的に無理だからです。

**世界最高峰の治療法は、腹八分目の食事と定期的な運動で、どうしても補助的に改善したい場合には「安く安全に賢く」行うのがお勧めです。**もちろん、定期的な血圧検査を行いながら、おかしいと思ったらお医者さんに診てもらうことも大事なことです。少々厳しいことも書きましたが、少しでも健康的な生活の手助けになれば嬉しく思います。

脳卒中・循環器病対策基本法 2018年12月14日成立  
(国民の責務)

第六条 国民は、喫煙、食生活、運動その他の生活習慣及び生活環境、肥満その他の健康状態並びに高血圧症、脂質異常症、糖尿病、心房細動その他の疾病が循環器病の発症に及ぼす影響等循環器病に関する正しい知識を持ち、日常生活において循環器病の予防に積極的に取り組むよう努めるとともに、自己又はその家族等が循環器病を発症した疑いがある場合においては、できる限り迅速かつ適切に対応するよう努めなければならない。

### 慢性疾患(生活習慣病)の医療費

	総患者数(千人) →平成17年度調査→	推計患者数(千人) →平成17年度調査→	受療率 (人口10万人対) →平成17年度調査→	医療費(H17) (億円)薬剤等含む →平成17年度調査→
糖尿病	2,469	232.7	182	11,165
高血圧	7,809	655.8	513	18,922
悪性新生物	1,423	285.0	223	25,748
心疾患(狭心症、心臓病)	1,658	202.8	159	6,635
脳血管疾患	1,365	356.5	279	17,953

慢性疾患(生活習慣病)は予防可能である



例:イギリス政府主導の減塩ケチャップ、パン等の製造時減塩心臓病や脳疾患の患者が減り、**毎年2300億円もの医療費の削減**につながった  
\* 減塩は虚血性心疾患・脳卒中の減少に効果があったとされている。

### 慢性疾患(生活習慣病以外)の医療費

	総患者数(千人) →平成17年度調査→	推計患者数(千人) →平成17年度調査→	受療率 (人口10万人対) →平成17年度調査→	医療費(H17) (億円)薬剤等含む →平成17年度調査→
筋骨格系の疾患	4,738	1051.9	823	17,148
腎不全など	363	132.6	104	15,682
喘息	1,092	155.8	122	3,871
慢性閉塞性肺疾患など	287	48.6	38	1,741
アレルギー性鼻炎	446	68.8	54	
アトピー性皮膚炎	384	39.0	30	

総患者数、調査年において補助的に医療を受けている者の数、推計患者数、調査年当日において病院等で受診した患者の推計数

### 減塩は高血圧を防ぎ、血管の詰まりを防ぐ腎臓を助ける!

腎臓は血液を濾過して老廃物や塩分を尿として体の外へ追い出してくれます。また、体に必要なものは再吸収し、体内に留める働きをしています。腎臓でろ過される原尿は、1日あたり150リットル。肝臓の働きが悪くなると尿が出なくなり、老廃物などがカラダに蓄積し尿毒症になります。**収縮期血圧10mmHg下げると死亡率が13%ほど下げることが期待できる**と言われています。  
【WHO世界保険機関の1日の塩分量の目標値】5g未満  
【厚生労働省の1日あたりの塩分摂取量の目標値】男性8g、女性7g  
【高血圧学会の1日あたりの塩分摂取量の推奨値】6g未満  
【腎臓病患者の目安】3~6gが理想  
【人工透析患者の目安】6g

太い血管が傷つくと傷ついたところにコレステロールなどがたまりプラーク(血栓)ができ、プラークが破裂すると血の塊(血栓)が血管を塞ぎ、脳梗塞や心筋梗塞などが起こる可能性が高まります。細い血管が傷つくと網膜症や腎障害、神経障害などが起こる可能性が高まります。

あらゆる病気は生活習慣から

睡眠不足 → 過度のストレス → 栄養過多

血流不足 → 内臓脂肪蓄積 → 運動不足

歯周病 → 動脈硬化

高血圧 → インスリン抵抗性

耐糖性異常 → 脂質異常

腸内細菌の乱れ(毒素) → アレルギー物質

老化(酸化・糖化・炎症)

正常      無症状      病状 有

0年~10年      10年~30年      30年~40年      数秒

**危険因子**

- 高血圧
- 糖尿病
- 不整脈
- 喫煙
- 高齢者
- 肥満
- 過度の飲酒
- 運動不足
- 高脂血症
- 男性

AGE(最終糖化産物)が出来ると腎臓で濾過できない ⇒ 毛細血管の詰まる ⇒ 高血圧になる  
高血圧にお悩みの方々(手の指の毛細血管画像)50代~80代 個人生活習慣・行動と生き様の影響が表れる



# 【高血圧のメカニズム】Fisetin・茶種エキス・L-Arg 配合 eNOS

## 大石一二三博士のプロシーディング(論文)より「高血圧予防/治療効果」

なぜ血圧が上がるのか? 血圧は、血管にかかる圧力のことで、血圧を決める要素には大きく2点あります。ひとつは心臓が血液を送り出す量で、もうひとつは血管の太さです。これら、二つの原因は誰にでも起こりうるからだの働きですが、高血圧症と言われる場合には、そうではない理由が潜んでいます。それが、血管の状態です。高血圧の原因は2点あります。ひとつは、血管そのものが固くなってしまふことにあります。老化による劣化が原因なので、生まれたその時から動脈硬化は始まっています。もうひとつが、血管の内側にゴミが溜まって中が細く硬くなってしまふということです。さて、これら二つの原因を取り除けば、おおむね血圧はその人にとっての正常範囲となるはずですが。

### 世界最高峰の治療法を支える

たらよう葉より抽出されたポリフェノール一種であるFisetinと砂糖の吸収を抑え食後血糖値の急激な上昇を抑制する茶種抽出物を一緒に摂取することで血圧低減化作用が認められました。(内部資料; 報告書番号2006-研試報11)。

### ●Fisetin: 抗ヒスタミン遊離作用、高血圧・高脂血症改善

たらよう葉は古来より、中国では高血圧や高脂血症を改善する作用があると知られていました。独自の調査・研究を行い非常に強い抗ヒスタミン遊離作用を有することを発見した。

### ●茶種エキス: 砂糖消化吸収阻害作用(抑制率80%以上)

デンプン消化吸収阻害作用(抑制率50%以上)

茶種エキスは、消化管で糖やデンプンを吸収するのに必要なグリコシターゼ活性を阻害することにより、デンプンや特に砂糖の吸収を強力に阻害します。この作用により、糖質からの摂取エネルギーを減少させ、摂取カロリーと消費カロリーのバランスを整えます。茶種エキスをを用いることで過度の**危険な食事制限を行うことなく**、タンパク質、ビタミン類、ミネラル類などの体に必要な栄養成分を十分に摂取でき、糖分由来の摂取カロリーだけを減少させることができます。食事と一緒に摂取することで、**糖尿病や血糖値が高めの人の食後血糖値を50%以下と有意に低下させることができます。**

### ●L-アルギニン(L-Arg): 一酸化窒素(NO)に代謝

⇒血管平滑筋が弛緩し拡張・産生NOによる血小板の凝集を抑制 ※

血管内皮の拡張での血流・血圧改善と、その病原因子の改善を促すことは少しでも健康的な生活をする上で賢いQOLの向上につながるかと期待出来ます。

天然のたらよう葉から抽出した高次機能性素材



たらようエキスに含まれているFisetinには記憶力を司る海馬に作用する働きがあります。イチゴやリンゴにほんのわずかしが含まれていないポリフェノールであるFisetinは記憶力を向上させることが米国の科学雑誌に掲載されている。

図1 植物エキス(たらよう葉抽出物+茶種エキス)摂取による収縮期血圧に及ぼす影響

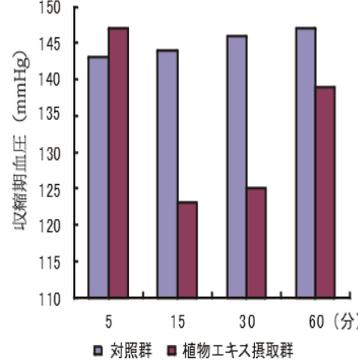
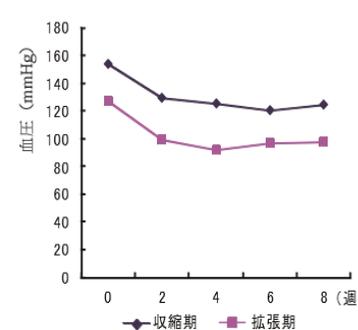
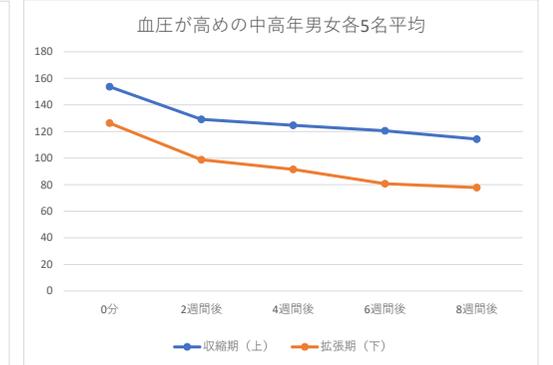
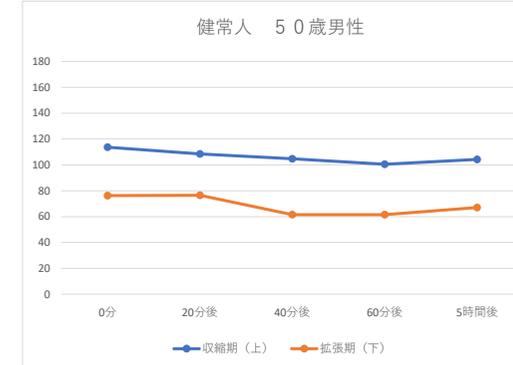


図2 eNOS 摂取による血圧に及ぼす効果



■たらよう茶エキスの生理機能  
抗ヒスタミン遊離作用(特許出願中)  
高血圧・高脂血症改善

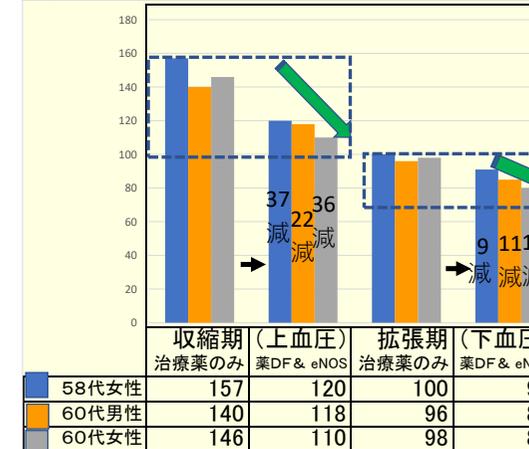
## 【摂取時から効果を発揮したeNOSの血圧低下作用(ダービリアンフコイダン with eNOSの場合)】



50才、男性(69kg、162cm)、血圧、血糖及び血清脂質正常、eNOS 4カプセル(1g)を150mlの温水に希釈して経口摂取。本検討は健康人でのファーストスクリーニングであるが、60分間後の血圧は収縮期血圧が11.6%、拡張期19.4%低下しており、その作用は5時間経過後も持続していた。

収縮期と拡張期血圧が平均150と120台の40~50才の男女各5名に1日1gのeNOSを夕食後に摂取させた。収縮期と拡張期血圧はいずれも20~25%程度低下しており、顕著な日動変化も認められず非常に安定していた。この血圧低下率は健康者のそれよりも顕著であった。

## 【治療薬の効果が上がるeNOSの血圧低下サポート】降圧剤投薬モニターからの嬉しい報告



2~3年に渡り医師処方での降圧剤でも血圧は140mmHg以上で低下した時はない3名が処方薬との併用でダービリアンフコイダン&eNOSを連日摂取した。悪い血圧結果に見慣れていた方々でも処方薬の効能を高めるダービリアンフコイダンとeNOSは福音といえる。収縮期血圧10mmHg下げると死亡率が13%ほど下げることが期待できるとともにカラダが非常に楽で元気である。

## 【治療薬とのeNOS併用後高血圧寛解した血圧サポート】80代女性からの報告

	動脈硬化の原因となる												高血圧の重症度が分かる												健康診断検査値判定										
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月																	
収縮期血圧																																			
160以上	1																		100以上																要精密検査・治療
140-159	6	5	8	6	5	4	2	3	6	90-99										90-99														要再検査・要生活習慣改善	
130-139	6	8	13	12	8	10	7	13	9	85-89										85-89														軽度異常	
129以下	18	17	10	12	18	17	19	14	15	84以下	31	30	31	30	31	31	28	31	30	84以下	31	30	31	30	31	31	28	31	30	異常なし基準範囲					
投薬	有 7日 卒業: テルミサルタン20mg												健康補助食品 eNOS 4個、ダービリアンフコイダン4個、ラクトH2、ABL他																						